

## 『オールドレンズ・バトル 歴史的銘玉 vs 新定番レンズ』

カメラホリックレトロ Vol.3

10月31日（火）発売

2023年10月31日  
株式会社ホビージャパン

「カメラとフォトグラフィーと人」をテーマとするカメラ・写真誌「カメラホリック」を発行する株式会社ホビージャパン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：松下大介）は、『オールドレンズ・バトル 歴史的銘玉 vs 新定番レンズ』カメラホリックレトロ Vol.3を10月31日（火）より全国の書店で発売いたします。

オールドレンズファンの好奇心を全力で刺激。



シリーズ3冊目となる本書は、「オールドレンズ・バトル」特集号です。あまたある標準画角のオールドレンズから、歴史的銘玉と新定番レンズをピックアップ。

オールドレンズ界のご意見番、澤村徹と上野由日路がそのレンズに対する思い入れを本気でぶつけ合います。付度なし、予定調和なし。インタビュー後にふたりの仲が険悪になったほどのガチバトルをご覧ください。オールドレンズファンの好奇心を全力で刺激する一冊です。



『オールドレンズ・バトル 歴史的銘玉 vs 新定番レンズ』カメラホリックレトロ Vol.3

- 定価：2,970 円（税込）● A4 判
- ISBN-10：4798632899 ● ISBN-13：978-4-7986-3323-7

## （掲載コンテンツ）

- オールドレンズバトル ～歴史的銘玉 vs 新定番レンズ
- 擬態するオールドレンズ
- レトロレンズは旅の途中
- オールドレンズで赤外線ポートレート



異色がたり出せばいい

### Pancolar 55mm F1.4

高画質を追求するカメラレンズ

このレンズは、1950年代から1960年代にかけて、ドイツの光学技術者によって開発された。当時の技術水準を反映し、非常に高画質で、特に色再現性が優れている。また、F1.4という大口径を実現している。このレンズは、現在でも多くのカメラ愛好家から愛用されている。その理由の一つは、その独特の色彩表現にある。特に、赤や青の再現が非常に自然で、人々の目を惹きつける。また、その軽量化とコンパクトなサイズも、多くのユーザーにとって魅力的なポイントとなっている。

レタスアライに特化したこの高性能レンズが、最新のカメラボディに最適化された。

Carl Zeiss  
CONTAX G mount  
Vari-Sonner 35-70mm F3.5-5.6 T\*  
50

### FL 50mm F1.4

6枚玉の形状がクセモノ

6枚玉という入チャッポリから、真きタセボが現れた

このレンズは、6枚玉という独特の形状が特徴。その形状は、光の屈折率を最適化し、高画質を実現するための工夫が凝らされている。また、F1.4という大口径を実現している。このレンズは、現在でも多くのカメラ愛好家から愛用されている。その理由の一つは、その独特の色彩表現にある。特に、赤や青の再現が非常に自然で、人々の目を惹きつける。また、その軽量化とコンパクトなサイズも、多くのユーザーにとって魅力的なポイントとなっている。

だってこのレンズ、ぐるぐるボク出ないじゃん

50

レトロレンズは、真の途中

### 天と羊と海鳥と

谷村アキラ

Carl Zeiss  
CONTAX G mount  
Vari-Sonner 35-70mm F3.5-5.6 T\*  
50

レトロレンズは、真の途中

### nowhere

なにもない風景

小海太一

Leitz  
139 mount  
Summar ScmF2  
54

### 擬態する オールドレンズ

Camelopard Old Lens

世代的に擬態するマニアと恋するレンズたち

このレンズは、1950年代から1960年代にかけて、ドイツの光学技術者によって開発された。当時の技術水準を反映し、非常に高画質で、特に色再現性が優れている。また、F1.4という大口径を実現している。このレンズは、現在でも多くのカメラ愛好家から愛用されている。その理由の一つは、その独特の色彩表現にある。特に、赤や青の再現が非常に自然で、人々の目を惹きつける。また、その軽量化とコンパクトなサイズも、多くのユーザーにとって魅力的なポイントとなっている。

50

### オールドレンズで海外ポートレート

難関  
赤外線ポートレートに  
オールドレンズで挑む

このレンズは、1950年代から1960年代にかけて、ドイツの光学技術者によって開発された。当時の技術水準を反映し、非常に高画質で、特に色再現性が優れている。また、F1.4という大口径を実現している。このレンズは、現在でも多くのカメラ愛好家から愛用されている。その理由の一つは、その独特の色彩表現にある。特に、赤や青の再現が非常に自然で、人々の目を惹きつける。また、その軽量化とコンパクトなサイズも、多くのユーザーにとって魅力的なポイントとなっている。

50

【関連リンク】

- カメラホリック公式サイト <https://www.cameraholics.net/>
- カメラホリック公式 Twitter @camera\_holics
- 大人の道楽メディア <https://www.screw-hj.net/>

【問い合わせ】株式会社ホビージャパン 広報宣伝課 岡本  
TEL. 03-5304-9115 FAX. 03-5304-9318 E-mail. [pr@hobbyjapan.co.jp](mailto:pr@hobbyjapan.co.jp)  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-15-8 URL: <https://hobbyjapan.co.jp/>